

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                      |      |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------|
| 登録コード:MH174400 開講年度:2026 |                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 授業科目区分                                                               | 選択科目 |
| 科目名                      | 公衆衛生看護学実習【20M～24M】<br>Clinical Practice in Public Health Nursing                                                                                                                                                                                                                       |                                                                      |      |
| 担当教員                     | 五十嵐 久人 他 石田 史織・富澤 真澄                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                      |      |
| 対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限       | 看護学専攻（保健師コース）/4年 不定期 集中・不定期                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                      |      |
| 単位数、講義室                  | 5 単位                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 遠隔授業科目                                                               |      |
| 信大コンピテンシー                | 該当                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                      |      |
| 授業の達成目標                  | 授業で得られる「学位授与の方針」要素                                                                                                                                                                                                                                                                     | 授業の達成目標                                                              |      |
|                          | MH22カリ・保健, MH20カリ・保健                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                      |      |
|                          | 保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。                                                                                                                                                                                                                                     | 実習を通して理論と技術を統合し活用することができる。                                           |      |
|                          | 保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。                                                                                                                                                                                                                                  | 対象者や家族との信頼関係を築くとともに、保健・医療・福祉等の多職種や関係機関の役割を理解し、連携・協働のあり方を理解することができる。  |      |
|                          | 多くの学問分野に接して幅広い教養と探求的、創造的思考を身に付け、保健・医療の専門職者として必要な学修課題や目標を自ら設定し、常に課題の克服や目標達成に取り組むことができる。                                                                                                                                                                                                 | 地域の健康課題と既存の社会資源を分析し、エビデンスに基づいた保健活動の必要性和その根拠を論理的に考察できる。               |      |
|                          | MH23カリ・保健・看護                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                      |      |
|                          | 基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。                                                                                                                                                                                                                         | 実習を通して理論と技術を統合し活用することができる。                                           |      |
|                          | 科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。                                                                                                                                                                              | 地域の健康課題と既存の社会資源を分析し、エビデンスに基づいた保健活動の必要性和その根拠を論理的に考察できる。               |      |
|                          | 問題解決力 保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。                                                                                                                                                                                                    | 対象者のセルフケア能力や地域の潜在力を引き出すための支援計画を立案することができる。                           |      |
|                          | 対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる。                                                                                                                                                                                           | 対象者や家族との信頼関係を築くとともに、保健・医療・福祉等の多職種や関係機関の役割を理解し、連携・協働のあり方を理解することができる。  |      |
|                          | プロフェッショナリズム 看護専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。                                                                                                                                                                                                          | 保健師としての倫理観を持ち、公衆衛生の視点から住民の権利を擁護するとともに、自らの専門的役割に対する責任感を持って行動することができる。 |      |
| 授業で学べる「テーマ」              | 地域運営、多文化協働、健康長寿                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                      |      |
| 全学横断特別教育プログラム            |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                      |      |
| 授業概要                     | 多様な健康レベルにある対象を、個人・家族・集団・地域レベルで捉え、対象の理解を深め、地域で生活する人々への看護を展開するために基礎的な能力を養うこと、ヘルスプロモーションやプライマリヘルスケアの理念の実際を確認し、対象を主体として多くの関係者と組織的に協働する看護職の役割を理解することを目的とします。<br>男女共同参画に関する内容を含み、担当教員および実習する組織・機関の実習指導担当者の保健師としての実務経験を活かして実習を行います。<br><br>本授業は、これまでに学んだ各領域の授業内容を基礎として、地域での支援方法を検討し、実践するものです。 |                                                                      |      |
| 授業計画                     | 1．5週間：保健福祉事務所1週間、市町村保健センター4週間<br>実習グループや実習施設により日程が異なるため、詳細な日程の説明は実習オリエンテーションにて行います。<br>2．全ての学生の実習が終了した後、実習報告会（1日）を学内で実施します。<br>報告会の日程は実習施設との調整により決定するため、決まり次第お伝えします。<br>3．実習記録の提出後、授業アンケートを実施します。<br>実習期間<br>5月中旬～7月下旬のうち、<br>・保健センター実習：4週間<br>・保健所実習：1週間<br>7月下旬に実習報告会を実施する。          |                                                                      |      |
| 授業の進め方                   | 実習前に実習要項を用いて、オリエンテーションを行い、実習で取り組む内容などの確認を行います。<br>実習全体のオリエンテーションの後、実習施設ごとのオリエンテーションを行い、実習スケジュールや教員との連絡方法などを確認します。                                                                                                                                                                      |                                                                      |      |
| テキスト、教材、参考書              | テキスト：<br>標準保健師講座 公衆衛生看護技術<br>標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動<br>国民衛生の動向<br>母子健康手帳 活用の手引き                                                                                                                                                                                                           |                                                                      |      |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テキスト，教材，参考書           | <p>乳幼児健診マニュアル第6版</p> <p>母子健康手帳活用の手引き、乳幼児健診マニュアルは実習室 にあります。積極的に活用してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 成績評価の方法               | <p>成績評価は、実習目標（行動目標）5項目各20点とする。到達度は、実践状況、実習記録、健康学習会の企画と実施、実習報告会の参加状況や内容、グループでの協働の姿勢、最終課題レポートから総合的に判断し、60点以上を合格とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 成績評価の基準               | <p>採点基準は以下の通りとします。</p> <p>実習目標に対する到達度の項目に即して、上記の成績評価の方法により、“能動的に学習し卓越した実習内容である場合”は秀：90点以上、“十分な実習内容である場合”は優：80-89点、“やや詳細な実習内容である場合”は良：70-79点、“最低限の実習内容である場合”は可：60-69点と判定します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 事前事後学習の内容             | <p>事前に実習するオリエンテーションで説明を行います。<br/>本授業の単位修得には225時間の学習が必要です。</p> <p>【事後学習について】<br/>毎日、実習後にグループでディスカッションを行います。参加した事業のまとめをして学びを深め、次の日の実習に備えてください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習内容や実習に関連した自己学習に関する質問・相談等は歓迎します。実習中は学生も学外実習地に出向いているため、直接研究室に来るのは困難だと思います。質問等はメールでも受け付けますので気がねなく連絡をしてください。</li> <li>・実習日程と就職試験の日程が重なる場合には、実習担当教員に速やかに申し出て、対応を相談してください。</li> <li>・その他、実習に関する心配事がある場合には、公衆衛生看護学の教員に相談してください。</li> <li>・テキスト購入については、別途指示を出します。</li> </ul> <p>質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp<br/>石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp<br/>富澤真澄 masumitmw@shinshu-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー：随時（要事前連絡）保健学科中校舎4階 五十嵐久人研究室<br/>随時（要事前連絡）保健学科中校舎4階 石田史織研究室<br/>随時（要事前連絡）保健学科中校舎3階 看護学専攻助教・助手研究室</p> |